

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和5年1月24日 No. 48 文責：佐野紳二

単位の換算は難しい?!

突然ですが、問題です。次の（ ）にあてはまる数字はいくつでしょう。

- | | | |
|---|---|---|
| ① 1 m = () cm | ② 1 km = () m | ③ 1 km = () cm |
| ④ 1 m ² = () cm ² | ⑤ 1 ^{アール} a = () m ² | ⑥ 1 ^{ヘクタール} ha = () m ² |
| ⑦ 1 ^{リットル} L = () cm ³ | ⑧ 1 m ³ = () cm ³ | ⑨ 1 m ³ = () ^{デシリットル} dL |

いかがでしょうか？①、②あたりはスッと答えが出てきそうですが、⑤や⑥、⑨あたりになると「えっ、ちょっと待って」なんていう人もいるのではないかと思います。本校の職員には聞いていませんが、おそらく教員でも全員がすべての問題を正確に答えられるわけではないと思います。

これらは、「量の単位の相互換算」の問題で、すべて小学校で学習する内容なのですが、小学校の算数の中でもかなり定着のよくない問題の一つです。理由としては大きく以下の2つのことが挙げられます。

①これらの量感覚が身についていない（あるいは感じづらい）。

②これらの単位の多くが日常生活の中でほとんど使われていない。

もちろん、この2つは相互に関連があるのですが、一応分けて考えてみました。

①の「量感覚が身についていない」は大きな単位になるほどその傾向が強く、1 a や 1 ha の広さがどれくらいか、あるいは1 m³ってどれくらいの量かは非常に掴みづらいものです。学校で学習するときには、それぞれの量感覚ができるだけ視覚的あるいは体感的に感じられるよう、新聞紙を使って1 m²をつくったり、校庭に1 a を描いたり、dL ますで1 L の水が何杯分かを数えたりしますが、1 m³の容器に水を入れたり、1 ha を校庭に描いたりすることはなかなかできません。そういった難しさがあります。

②の「日常生活の中でほとんど使われていない」は、保護者の皆様にも分かっていただけだと思います。私は小学校の算数の教科書以外でdLという単位を見たことがありませんし、日常の中で広さを語るのにa や ha という単位を使うこともありません。

じゃあ、どうやって勉強したらいいの？という話になるわけですが、紙面の都合上、その話は次号以降にさせていただきます。

3学期の代表委員です

19日（木）の北小タイムの時間に、3学期の代表委員の任命式を行いました。毎年、3学期は今の児童会（6年生中心）による1年間の活動のまとめと、新児童会（5年生中心）による6年生を送る会に向けての取り組みが並行して行われます。短い3学期ではありますが、代表委員もなかなか忙しいのがこの3学期です。

今回選ばれた8名の代表委員には、学級の代表として頑張ってもらいたいという思いを込めて、任命書を手渡しました。みなさん、ぜひ自覚と責任を持って頑張ってください。



歌会始 お題は「友」

1月19日の朝刊（山梨日日新聞）に、前日18日に行われた歌会始の話題が大きく掲載されていました。「歌会始」は毎年1月10日前後に皇居宮殿松の間で行われる「和歌（短歌）を披露しあう歌会」で、天皇陛下をはじめとする皇族がつくった和歌と、お題に沿って詠まれた一般の方の作品の中から選ばれた10作品が披露される行事です。毎年ニュースや新聞でもとり上げられていますが、今年は北杜市の甲陵中学校2年生の小宮山碧生さんがつくった和歌が選ばれたことで、県内でもいつも以上に大きな話題となったようです。



今年の歌会始のお題は「友（とも）」で、小宮山さんの作品は以下のようなものでした。

友の呼ぶぼくのあだ名はわるくない他のやつには呼ばせないけど

この句は、小宮山さんの名前・碧生（あおい）のブルーから名付けた「ぶるっくす」というあだ名で小宮山さんのことを呼ぶ親友・新海光琉（ひかる）さんとの友情を詠んだもので、「友人が僕に変わったあだ名をつけてくれて、2人の関係を大切にしていきたいという思いで歌いました。」という小宮山さんに対し、「友達の関係が認められたじゃないですけど、そんな感じがあって（入選を聞いて）うれしかったです。より仲が深まったなと思いました。」と友人の新海さんはコメントをしているそうです。

子どもたちはこれから大人になっていく過程でたくさんの人に出会い、さまざまななかかわりを持っていくことでしょう。「顔を合わせただけ」とか「一言二言、言葉を交わしたくらい」なんていう関係の人も多くいる一方で、「親友」と呼べるような友との出会いがあることと思います。人間関係がうまくいかないことで起こる事件が連日のように報道される昨今ですが、このニュースを聞いて、何だかとても心が温かくなりました。ぜひ、楡形北小学校の子どもたちにも、たくさんの素晴らしい「友」との出会いがあってほしいな、そんなことを思いました。

友 ～旅立ちの時～

北川 悠仁（ゆず）

友 今君が見上げる空は どんな色に見えていますか？
友 僕たちに出来ることは 限りあるかも知れないけれど

確かな答えなんて何一つ無い旅さ 心揺れて迷う時も
ためらう気持ちそれでも 支えてくれる声
気付けば いつもそばに

友 進むべき道の先に どんなことが待っていても
友 この歌を思い出して 僕らを繋ぐこの歌を

明日の行方なんて誰にも分からないさ 風に揺れる花のように
確かめ合えたあの日の 約束胸に信じて
未来へ 歩いてゆくよ

Wow 遠く 遠く Wow 終わらない夢
Wow 強く 強く Wow 新たな日々へと旅立つ時

友 さようならそしてありがとう 再び会えるその時まで
友 僕たちが見上げる空は どこまでも続き 輝いている
同じ空の下 どこかで僕たちは いつも繋がっている

♪ 友の贈る贈るの景 ♪

* 1 m L = 1 m L (1 c o l) , 1 I = 1 0 P I

① 100cm	⑥ 100000I
② 1000m	⑦ 1000I
③ 1000000m	⑧ 000000I
④ 10000000m	⑨ 0000I
⑤ 100000000m	⑩ 0000I